

令和7年度第5回浦安市介護保険運営協議会議事録

1. 開催日時 令和8年3月18日（水） 午後1時00分～午後2時18分

2. 開催場所 浦安市文化会館3階 中会議室

3. 出席者

（委員）櫻井委員（会長）、松浦委員、深川委員、高梨委員、高橋（哲）委員、相原委員、山口委員、石川委員、高橋（康）委員、浅井委員、北島委員

（事務局）福祉部長、福祉部次長、高齢者包括支援課長、介護保険課長、中央地域包括支援センター所長、浦安駅前地域包括支援センター所長、新浦安駅前地域包括支援センター所長、高洲地域包括支援センター所長、富岡地域包括支援センター所長、高齢者福祉課職員、高齢者包括支援課職員、介護保険課職員、中央地域包括支援センター職員、社会福祉法人敬心福祉会

4. 進行

1. 会長あいさつ

2. 議 題

（1）令和8年度地域包括支援センター事業計画について

（2）地域包括支援センター事業報告書様式案について

（3）浦安市地域包括支援センター第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業者について

（4）第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託 追加事業所の承認について

（5）高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果について

（6）令和7年度における事業所の指定・更新・廃止の状況について

（7）その他

3. 閉 会

5. 会議経過

議題（1）令和8年度地域包括支援センター事業計画について

事務局より資料に沿って説明し、質疑等特になし。

議題（2）地域包括支援センター事業報告書様式案について

事務局より資料に沿って説明。

委員：資料2「地域包括支援センター事業報告書様式案」の1. 職員体制・圏域の状況【圏域の状況】の中に高齢者人口を記載する欄があるが、高齢者の定義を補足することと、75歳以上の後期高齢者の人口も記載していただきたい。

事務局：承知した。

議題（4）第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託 追加事業所の承認について

議事の都合により議題の順番を入替え、事務局より資料に沿って説明し、委員からの承認を得た。

議題（3）浦安市地域包括支援センター第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業者について

事務局より資料に沿って説明。委員からの承認を得た。

議題（5）高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果について

事務局より資料に沿って説明。

委員：資料5「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果について」の1ページ、「5 回収結果」において、この回収率というのは高い方なのか低いのか伺いたい。特に介護サービス事業所の回収率が56.9%となっており、当事者意識がないと思うところだが、事務局としてはどのように捉えているか。

事務局：回収率については、数百件以上集まっており、アンケートの区分ごとに分けて、前回の令和4年度と比較して回収率が下がっているものもあるが、5～6割の回収率となっているため、統計的には特に問題はないと考えている。

委員：また、同資料の各所におけるアンケートの回答項目において、その回答を選んだ理由についても聞くような小項目を選択式で付け加えた方がより分析が進んで良かったように感じる。とても回答しやすいアンケートなだけに少しもったいなか

ったのではないか。

事務局： 項目の中には理由まで聞いたものもある中で、他の設問についてもその方がより分析が深まったものがあるため、次回においては意見を反映させていきたい。

委員： 同資料の11ページに、「①主な介護者の方の状況について〔在宅介護調査〕」があり、設問としては「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。」とある。回答状況としては、「外出の付き添い、送迎等」や「認知症状への対応」、「日中・夜間の排泄」などを選択している割合が令和4年度と比べて今回が減っている。回答者が前回と今回で異なっているため個人差はあると思うが、私自身の周りの環境と比べるとこの数字には違和感がある。

事務局： アンケートの集計結果と実生活とのずれを感じられているというところで、令和4年度と比べて今回減った要因については、事務局としてもこれから分析を進めていきたい。分析していくにあたっては、日頃から認知症の方と接していたり、認知症の家族の方からの相談を受けたりしている地域包括支援センターや認知症地域支援推進員の方へのヒアリングを行い、また会議等でご意見を伺いながら、実態とのずれがないかなどを確認していく。

委員： 同資料の7ページに、「①自分が認知症になった場合に周囲に自分が認知症であることを伝えてもよいと思う割合」があり、設問としては「あなたは認知症になった場合、周囲に自分が認知症であることを伝えたいと思いますか。」とある。回答状況としては、令和4年度と比較して「伝えてもよい」の割合が40歳から64歳の方で増えているものの、65歳以上の回答者で減っている。この結果ではあるものの、地域包括支援センターの様々な認知症の取り組みや、行政が開催する講座、また、認知症に特化した家族の交流会があつたり、認知症カフェがしっかりと開催されていたりと、そういった取り組みは評価して良く、効果も出ていると思う。
また、昨今の特殊詐欺などのことを考えると、周りに伝えることについても難しい部分があると思われる。

委員： 本市にはベイシニア浦安があり、老人クラブ会館を持っている。アンケート結果でも、住み替えたい理由の中に「家族、友人など頼れる人が近くにいない」というのがある。独居の高齢者の方や高齢者世帯の方々にまだ老人クラブに参加されていない方たちにぜひ行政からも、色々な相談のお答えの中で老人クラブ活動への参加のお声掛けをしていただきたい。ベイシニア浦安では年に2回広報誌を発行しており、また老人クラブ会館の場所を記した地図も作成したので、各地域包括支援センターに設置してほしい。

委員： アンケートの分析結果はどのように公表されるのか。

事務局： 4月以降に市公式ホームページでの公表を予定している。

議題（6） 令和7年度における事業所の指定・廃止の状況について

事務局より資料に沿って説明。

6. 問い合わせ先

福祉部 介護保険課 保険料係 担当 蛭田

電話 047-712-6403 内線 15505